

## V. 大学院スポーツ科学研究科について

### 1. 大学院スポーツ科学研究科の沿革

早稲田大学は 1882 年の創立以来、スポーツとともに歩んできた。日本の近代スポーツの礎は早稲田大学なくしてはありえなかったといえる。本学創設者である大隈重信は創立時から、「知育・徳育・体育の三者は相並行して進まざるべからずは、今更の問題にあらず」と語り、学生のスポーツ活動を積極的に奨励した。日本人初のオリンピック金メダリストの輩出、「早慶戦」を通じた観戦スポーツの国民への普及などにはこの思想が大きく貢献したといっても過言ではない。

本学は、これまで数多くのトップアスリート、指導者、学校教員、スポーツ団体などの組織運営の専門家を送り出し、トップレベルの競技力を科学的に分析する姿勢をいち早く取り入れてきた。本学には、こうした姿勢を支えるナレッジ・スキル、人脈が伝統とともに組織文化のなかに脈々と継承されている。

このような伝統と文化のなか、学内でのスポーツ教育の制度化の需要に応え、本学では東京オリンピックが開催された 1964 年に教育学部に体育学専修を設け、定員 160 名の精鋭教育を始めた。1987 年には時代の要求に応え、最新のスポーツ施設や実験設備を配した新設の所沢キャンパス内において男女併せて 240 名に定員を増員し、人間科学部スポーツ科学科として改組した。一方、専門教育の充実の必要性から、1991 年に大学院人間科学研究科が開設され、健康科学専攻内にスポーツに関する研究指導が設置された。2000 年の組織再編の際、スポーツ科学研究領域が設置されたのを機に大学院におけるスポーツ研究は更に充実し、2005 年度には 19 の研究指導を設置するに至った。

世界ならびにわが国のスポーツが隆盛を極めるなか、スポーツに対する多様化・高度化・専門化する社会ニーズに対応するため、また、100 年を超える早稲田スポーツの伝統と力を継承・発展させるべく、2003 年 4 月に人間科学部からスポーツ科学部が発展的に独立した。2006 年 4 月には、最先端のスポーツ科学の知識とともに熱いスポーツマインドを持った専門職業人および科学者の育成を目的として、大学院スポーツ科学研究科が誕生し、スポーツ科学の専門教育・研究機能を担うこととなった。

### 2. 大学院スポーツ科学研究科の理念

人間の日常生活活動において、スポーツは深く浸透し、私たちの生活に様々な影響を与えている。スポーツ科学が扱う領域として、スポーツをする身体に着目して医科学的な評価・検証を行うこと、健康増進や介護予防を通じて医療費削減や幸福な暮らしの実現に貢献すること、スポーツを“文化”としてとらえ深く洞察すること、スポーツビジネスの有り方について分析・提言すること、スポーツの強化や普及さらには市場の開拓を包含したマネジメントの技法を解明すること等々、日常生活に直結する様々な課題がある。

このようなスポーツに関わる様々な課題を対象として、研究と教育を総合的に実施するために本研究科が設置された。大学院学生は、所属する研究指導の演習に専念するだけでなく、研究科に設置される様々な分野の講義・演習を履修することによって、スポーツ科学に関わる最高度の研究成果を学習することができる。これらの学生が社会へと羽ばたき、スポーツに関わる様々な分野で活躍することを通じて、“豊かなスポーツ文化の創造”に資することが、本研究科設立の理念である。

### 3. 大学院スポーツ科学研究科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科では、スポーツ科学に期待される社会的要請の高まりに対応し、スポーツに関わる幅広い事業分野で専門職者として活躍する人材を育成することを目指している。本研究科では人材の養成として、以下のように考えている。

- 1) スポーツ医科学の専門知識を生かした学術研究者および高度職業人の育成
- 2) スポーツ文化の発展に貢献することのできる学術研究者および高度職業人の育成
- 3) スポーツビジネス実務者への高度専門教育を通じてのスポーツ界をリードする高度職業人の育成

これらの学術研究者および高度職業人を育成するために、本研究科では、スポーツ文化、スポーツビジネス、スポーツ医科学、身体運動科学、コーチング科学の5つの研究領域を設けて、各々の研究成果を教育還元する。さらに、実務経験者を対象とする修士課程(1年制コース)を設置して、スポーツマネジメント分野での実務者教育を行う。

### 4. 大学院スポーツ科学研究科の研究領域とマネジメントコース

#### 修士課程(2年制)・博士後期課程

##### (1) スポーツ文化研究領域

本研究領域ではスポーツを、当該社会の精神文化、社会文化、技術文化のそれぞれに属する諸要素が有機的に関連しあつてなる体系ととらえ、そこに生じる問題を社会学、教育学、文化人類学、倫理学、歴史学、哲学等の方法によって解決することをめざしている。そこでは、スポーツの本質理解に関わる基礎的問題から、スポーツメディア、スポーツ教育、スポーツ倫理、ジェンダー、観光化民族スポーツなど日常の社会生活に現れる応用的問題までが扱われる。スポーツを社会・文化現象として対象化し、これを人文・社会科学的に研究しうる人材の養成と並んで、そうした高度かつ広範な専門的知識を身につけた職業人の養成をもめざしている。

##### (2) スポーツビジネス研究領域

本研究領域では、プロスポーツやフィットネスクラブに代表される民間営利スポーツから、政府や学校のような公共非営利スポーツまでの幅広いスポーツビジネス分野を対象として、スポーツビジネス現象のしくみについての理解を進め、スポーツビジネスをめぐって生起している経営課題に対する解決方法を、働く個人やスポーツ参加者といったミクロ的視点から経営体とマクロ環境の関係といったマクロ的視点にまで幅広く学際的な方法を用いて究明する。そして、スポーツに関する基礎学問的な理解の上に、ビジネスやマネジメントに関する知識や技能を修得し、スポーツビジネスに関する高度な知識と技能を有した職業人および研究者の育成をめざす。

##### (3) スポーツ医科学研究領域

本研究領域では、スポーツ障害、健康医学、障害者スポーツに関連した医科学研究を推進すると同時に、研究に関連した知識と研究遂行能力を身につける。スポーツ医科学におけるトップクラスの実践の場をフィールドとして、スポーツ医科学における研究活動を進める。アスレティックトレーナー、フィジカルセラピスト、行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフ、高度な研究能力と豊かな学識を有した研究教育者、および実践の場における高度な知識を有した指導者の養成を目的とする。国内

外その他スポーツ医科学研究機関との連携をはかりながら国際的研究の場での活動が身につくよう配慮する。

#### **(4) 身体運動科学研究領域**

本研究領域では、健康増進やスポーツパフォーマンスの向上につながる研究を基礎科学的見地から進める。スポーツの自然科学的側面に関する高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有した研究者およびそれらに関連する高度専門職業人、スポーツ科学や体育に関する高度な知識と技能を備えた教員、スポーツ指導者、行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフなどの養成を目的とする。他の研究機関との連携も密にし、研究・教育の充実を図る。

#### **(5) コーチング科学研究領域**

本研究領域では、現代社会に機能する「コーチング」をスポーツ・教育の分野から科学的にまた技能的に捉え、競技種目に対するコーチングの現象を専門的理解により深めることやスポーツ参加者への導入・展開の技術習得や環境づくりの関係を学際的な方法により究明する。一流選手をはじめとする競技者のパフォーマンス獲得のプロセスや根拠を解明し、効率よくパフォーマンスを向上させる原理を構築する。実戦的研究・教育を通じて理論武装した競技者の輩出およびそれを指導する能力を有する高度なスポーツ実践者、指導者、研究者の養成を目指す。

### **修士課程(1年制)**

#### **(1) トップスポーツマネジメントコース**

スポーツビジネスや一般企業などでの実務経験を有する者に対して、スポーツサービスやスポーツグッズを中心としたプロスポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、トップスポーツ界で要請される人材を育成することを目的とする。トップスポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、トップスポーツビジネスに関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、トップスポーツビジネスの進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成する。

#### **(2) スポーツクラブマネジメントコース**

地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、スポーツ行政、スポーツ団体等での実務経験を有する者に対して、スポーツサービスを中心としたコミュニティ・スポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、地域でのスポーツクラブビジネスや公共スポーツ施設経営などで要請される人材を育成することを目的とする。コミュニティ・スポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、コミュニティ・スポーツビジネスに関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、コミュニティ・スポーツビジネスの進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成する。

入学資格: 地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、スポーツ行政、スポーツ団体等において、通算3年以上の実務経験を有し、コミュニティ・スポーツビジネスの実務能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。なお、コミュニティ・スポーツに関するビジネスプラン(事業計画書)を作成できる基礎的な能力があり、1年間の在籍で修了要件の全ての単位を修得できる能力を持っていることが求められる。

#### **(3) 健康スポーツマネジメントコース**

健康増進の実務経験を有する者に対して、運動やスポーツを中心とした健康増進活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とする。健康増進に関する広範な基礎知識を踏まえて、スポーツや身体運動・トレーニングを通じた実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは健康関連組織における健康増進のマネジメントを行う上での

実務的・専門的能力を開発する。

入学資格:医師・保健師・看護師・理学療法士・作業療法士等の医療関係資格、栄養士・管理栄養士、健康運動指導士、健康運動実践指導者等の資格を保持し、3年以上(健康運動実践指導者の場合は5年以上)の実務経験を有する者、および、前記に準ずる者のうち、修了後に健康増進関連業務に従事することが予定されている者。

#### (4)介護予防マネジメントコース

健康増進あるいは介護の実務経験を有する者に対して、介護予防活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とする。介護予防に関する広範な基礎知識を踏まえて、要介護認定者ならびに自立認定される虚弱高齢者に対して虚弱度の進行を抑制するための実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは介護関連組織における介護予防のマネジメントを行う上での実務的・専門的能力を開発する。

### 5. 学科目の履修方法

#### (1)修士課程(2年制)

① 修士課程(2年制コース)の修了要件は、通常2年以上4年以内在学し所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。

② 前項の30単位は、次のように履修します。

必修/選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導	所属する研究指導	2年分合格
	修士論文		合格
	演習科目	所属する研究指導の演習(1)A・B(2)A・B	8単位
選択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1)A・B(2)A・B	22単位(以上)
	講義科目	領域にとらわれず自由に選択(ただし、1年制コース「基礎選択科目」を含まない)	
	実習科目		
修了単位数			30単位(以上)

#### (2)修士課程(1年制)

① 修士課程(1年制コース)の修了要件は、通常1年以上2年以内在学し所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。

② 前項の30単位は、次のように履修します。

必修/選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導		合格
	修士論文		合格
	演習科目	所属する研究指導の演習(1)A・B	4単位
	マネジメント科目	所属するコース設置のマネジメント科目	6単位(以上)

選 択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1)A・B	30単位より必修科目 で取得した単位を除 した単位数
	マネジメント科目 基礎選択科目 講義科目等	領域・コースにとらわれず自由に選択 (2年制コース設置科目を含む)	
修了単位数			30単位(以上)

### (3)博士後期課程

- ① 博士後期課程の修了要件は、通常3年以上6年以内在学し、論文作成のために必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「博士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。
- ② 授業科目について必要な単位はありませんが、指導教員の指示により、修士課程の授業科目を履修しなければならない場合があります。

## 6. 授業科目一覧 2012年度の授業科目は現在未定です。

### (1)修士課程2年制コース 演習科目 [2011年度] 単位は(1)(2)各4単位

研究領域・コース	科目名	担当教員
スポーツ文化	武道論演習(1)A	志々田 文明
スポーツ文化	武道論演習(1)B	志々田 文明
スポーツ文化	武道論演習(2)A	志々田 文明
スポーツ文化	武道論演習(2)B	志々田 文明
スポーツ文化	スポーツ人類学演習(1)A	寒川 恒夫
スポーツ文化	スポーツ人類学演習(1)B	寒川 恒夫
スポーツ文化	スポーツ人類学演習(2)A	寒川 恒夫
スポーツ文化	スポーツ人類学演習(2)A	寒川 恒夫
スポーツ文化	スポーツ倫理学・教育学演習(1)A	友添 秀則
スポーツ文化	スポーツ倫理学・教育学演習(1)B	友添 秀則
スポーツ文化	スポーツ倫理学・教育学演習(2)A	友添 秀則
スポーツ文化	スポーツ倫理学・教育学演習(2)B	友添 秀則
スポーツ文化	スポーツメディア論演習(1)A	トンプソン リー A.
スポーツ文化	スポーツメディア論演習(1)B	トンプソン リー A.
スポーツ文化	スポーツメディア論演習(2)A	トンプソン リー A.
スポーツ文化	スポーツメディア論演習(2)B	トンプソン リー A.
スポーツ文化	スポーツ社会学演習(1)A	宮内 孝知
スポーツ文化	スポーツ社会学演習(1)B	宮内 孝知
スポーツ文化	スポーツ社会学演習(2)A	宮内 孝知
スポーツ文化	スポーツ社会学演習(2)B	宮内 孝知
スポーツ文化	スポーツ史演習(1)A	石井 昌幸
スポーツ文化	スポーツ史演習(1)B	石井 昌幸
スポーツ文化	スポーツ史演習(2)A	石井 昌幸
スポーツ文化	スポーツ史演習(2)B	石井 昌幸
スポーツ文化	舞踊論演習(1)A	杉山 千鶴
スポーツ文化	舞踊論演習(1)B	杉山 千鶴
スポーツ文化	舞踊論演習(2)A	杉山 千鶴
スポーツ文化	舞踊論演習(2)B	杉山 千鶴
スポーツ文化	体育科教育学演習(1)A	吉永 武史

スポーツ文化	体育科教育学演習(1)B	吉永 武史
スポーツ文化	体育科教育学演習(2)A	吉永 武史
スポーツ文化	体育科教育学演習(2)B	吉永 武史
スポーツビジネス	スポーツ経営学演習(1)A	木村 和彦
スポーツビジネス	スポーツ経営学演習(1)B	木村 和彦
スポーツビジネス	スポーツ経営学演習(2)A	木村 和彦
スポーツビジネス	スポーツ経営学演習(2)B	木村 和彦
スポーツビジネス	健康スポーツ論演習(1)A	中村 好男、塩田 琴美
スポーツビジネス	健康スポーツ論演習(1)B	中村 好男、塩田 琴美
スポーツビジネス	健康スポーツ論演習(2)A	中村 好男、塩田 琴美、原田 和弘
スポーツビジネス	健康スポーツ論演習(2)B	中村 好男、塩田 琴美、原田 和弘
スポーツビジネス	スポーツビジネスマネジメント論演習(1)A	原田 宗彦
スポーツビジネス	スポーツビジネスマネジメント論演習(1)B	原田 宗彦
スポーツビジネス	スポーツビジネスマネジメント論演習(2)A	原田 宗彦
スポーツビジネス	スポーツビジネスマネジメント論演習(2)B	原田 宗彦
スポーツビジネス	スポーツクラブビジネス論演習(1)A	間野 義之
スポーツビジネス	スポーツクラブビジネス論演習(1)B	間野 義之
スポーツビジネス	スポーツクラブビジネス論演習(2)A	間野 義之
スポーツビジネス	スポーツクラブビジネス論演習(2)B	間野 義之
スポーツビジネス	トップスポーツビジネス論演習(1)A	平田 竹男
スポーツビジネス	トップスポーツビジネス論演習(1)B	平田 竹男
スポーツビジネス	トップスポーツビジネス論演習(2)A	平田 竹男
スポーツビジネス	トップスポーツビジネス論演習(2)B	平田 竹男
スポーツビジネス	スポーツ組織論演習(1)A	作野 誠一
スポーツビジネス	スポーツ組織論演習(1)B	作野 誠一
スポーツビジネス	スポーツ組織論演習(2)A	作野 誠一
スポーツビジネス	スポーツ組織論演習(2)B	作野 誠一
スポーツビジネス	スポーツビジネス・アドミニストレーション演習(1)A	武藤 泰明
スポーツビジネス	スポーツビジネス・アドミニストレーション演習(1)B	武藤 泰明
スポーツビジネス	スポーツビジネス・アドミニストレーション演習(2)A	武藤 泰明
スポーツビジネス	スポーツビジネス・アドミニストレーション演習(2)B	武藤 泰明
スポーツビジネス	スポーツビジネスマーケティング演習(1)A	松岡 宏高
スポーツビジネス	スポーツビジネスマーケティング演習(1)B	松岡 宏高
スポーツビジネス	スポーツビジネスマーケティング演習(2)A	松岡 宏高
スポーツビジネス	スポーツビジネスマーケティング演習(2)B	松岡 宏高
スポーツ医科学	運動免疫学演習(1)A	赤間 高雄、清水和弘
スポーツ医科学	運動免疫学演習(1)B	赤間 高雄、清水和弘
スポーツ医科学	運動免疫学演習(2)A	赤間 高雄、清水和弘
スポーツ医科学	運動免疫学演習(2)B	赤間 高雄、清水和弘
スポーツ医科学	健康運動疫学演習(1)A	荒尾 孝
スポーツ医科学	健康運動疫学演習(1)B	荒尾 孝
スポーツ医科学	健康運動疫学演習(2)A	荒尾 孝
スポーツ医科学	健康運動疫学演習(2)B	荒尾 孝
スポーツ医科学	スポーツ神経精神医学演習(1)A	内田 直
スポーツ医科学	スポーツ神経精神医学演習(1)B	内田 直
スポーツ医科学	スポーツ神経精神医学演習(2)A	内田 直
スポーツ医科学	スポーツ神経精神医学演習(2)B	内田 直
スポーツ医科学	スポーツ健康管理学演習(1)A	坂本 静男
スポーツ医科学	スポーツ健康管理学演習(1)B	坂本 静男
スポーツ医科学	スポーツ健康管理学演習(2)A	坂本 静男

スポーツ医科学	スポーツ健康管理学演習(2)B	坂本 静男
スポーツ医科学	運動器スポーツ医学演習(1)A	鳥居 俊
スポーツ医科学	運動器スポーツ医学演習(1)B	鳥居 俊
スポーツ医科学	運動器スポーツ医学演習(2)A	鳥居 俊
スポーツ医科学	運動器スポーツ医学演習(2)B	鳥居 俊
スポーツ医科学	スポーツ外科学演習(1)A	福林 徹
スポーツ医科学	スポーツ外科学演習(1)B	福林 徹
スポーツ医科学	スポーツ外科学演習(2)A	福林 徹
スポーツ医科学	スポーツ外科学演習(2)B	福林 徹
スポーツ医科学	健康行動科学演習(1)A	岡 浩一朗、塩田 琴美、石井 香織
スポーツ医科学	健康行動科学演習(1)B	岡 浩一朗、塩田 琴美、石井 香織
スポーツ医科学	健康行動科学演習(2)A	岡 浩一朗、塩田 琴美、石井 香織
スポーツ医科学	健康行動科学演習(2)B	岡 浩一朗、塩田 琴美、石井 香織
スポーツ医科学	スポーツ整形外科学演習(1)A	金岡 恒治
スポーツ医科学	スポーツ整形外科学演習(1)B	金岡 恒治
スポーツ医科学	スポーツ整形外科学演習(2)A	金岡 恒治
スポーツ医科学	スポーツ整形外科学演習(2)B	金岡 恒治
スポーツ医科学	予防医学演習(1)A	鈴木 克彦
スポーツ医科学	予防医学演習(1)B	鈴木 克彦
スポーツ医科学	予防医学演習(2)A	鈴木 克彦
スポーツ医科学	予防医学演習(2)B	鈴木 克彦
スポーツ医科学	アスレティックトレーニング演習(1)A	広瀬 統一
スポーツ医科学	アスレティックトレーニング演習(1)B	広瀬 統一
スポーツ医科学	アスレティックトレーニング演習(2)A	広瀬 統一
スポーツ医科学	アスレティックトレーニング演習(2)B	広瀬 統一
身体運動科学	スポーツ神経科学演習(1)A	彼末 一之
身体運動科学	スポーツ神経科学演習(1)B	彼末 一之
身体運動科学	スポーツ神経科学演習(2)A	彼末 一之
身体運動科学	スポーツ神経科学演習(2)B	彼末 一之
身体運動科学	生体ダイナミクス演習(1)A	川上 泰雄
身体運動科学	生体ダイナミクス演習(1)B	川上 泰雄
身体運動科学	生体ダイナミクス演習(2)A	川上 泰雄
身体運動科学	生体ダイナミクス演習(2)B	川上 泰雄
身体運動科学	運動生化学演習(1)A	樋口 満、村岡 功
身体運動科学	運動生化学演習(1)B	樋口 満、村岡 功
身体運動科学	運動生化学演習(2)A	樋口 満、村岡 功
身体運動科学	運動生化学演習(2)B	樋口 満、村岡 功
身体運動科学	スポーツ生理学演習(1)A	村岡 功
身体運動科学	スポーツ生理学演習(1)B	村岡 功
身体運動科学	スポーツ生理学演習(2)A	村岡 功
身体運動科学	スポーツ生理学演習(2)B	村岡 功
身体運動科学	スポーツ心理学演習(1)A	山崎 勝男
身体運動科学	スポーツ心理学演習(1)B	山崎 勝男
身体運動科学	スポーツ心理学演習(2)A	山崎 勝男
身体運動科学	スポーツ心理学演習(2)B	山崎 勝男
身体運動科学	スポーツ情報処理演習(1)A	誉田 雅彰
身体運動科学	スポーツ情報処理演習(1)B	誉田 雅彰
身体運動科学	スポーツ情報処理演習(2)A	誉田 雅彰
身体運動科学	スポーツ情報処理演習(2)B	誉田 雅彰
身体運動科学	統合運動神経生理学演習(1)A	宝田 雄大

身体運動科学	統合運動神経生理学演習(1)B	宝田 雄大
身体運動科学	統合運動神経生理学演習(2)A	宝田 雄大
身体運動科学	統合運動神経生理学演習(2)B	宝田 雄大
身体運動科学	スポーツ認知神経科学演習(1)A	正木 宏明
身体運動科学	スポーツ認知神経科学演習(1)B	正木 宏明
身体運動科学	スポーツ認知神経科学演習(2)A	正木 宏明
身体運動科学	スポーツ認知神経科学演習(2)B	正木 宏明
身体運動科学	バイオメカニクス演習(1)A	矢内 利政
身体運動科学	バイオメカニクス演習(1)B	矢内 利政
身体運動科学	バイオメカニクス演習(2)A	矢内 利政
身体運動科学	バイオメカニクス演習(2)B	矢内 利政
コーチング科学	走運動・コーチング科学演習(1)A	磯 繁雄
コーチング科学	走運動・コーチング科学演習(1)B	磯 繁雄
コーチング科学	走運動・コーチング科学演習(2)A	磯 繁雄
コーチング科学	走運動・コーチング科学演習(2)B	磯 繁雄
コーチング科学	トップスポーツコーチング科学演習(1)A	奥野 景介
コーチング科学	トップスポーツコーチング科学演習(1)B	奥野 景介
コーチング科学	トップスポーツコーチング科学演習(2)A	奥野 景介
コーチング科学	トップスポーツコーチング科学演習(2)B	奥野 景介
コーチング科学	スポーツコーチング学演習(1)A	土屋 純
コーチング科学	スポーツコーチング学演習(1)B	土屋 純
コーチング科学	スポーツコーチング学演習(2)A	土屋 純
コーチング科学	スポーツコーチング学演習(2)B	土屋 純
コーチング科学	コーチング心理学演習(1)A	堀野 博幸
コーチング科学	コーチング心理学演習(1)B	堀野 博幸
コーチング科学	コーチング心理学演習(2)A	堀野 博幸
コーチング科学	コーチング心理学演習(2)B	堀野 博幸
コーチング科学	ボールゲーム戦術戦略論演習(1)A	倉石 平
コーチング科学	ボールゲーム戦術戦略論演習(1)B	倉石 平
コーチング科学	ボールゲーム戦術戦略論演習(2)A	倉石 平
コーチング科学	ボールゲーム戦術戦略論演習(2)B	倉石 平
コーチング科学	トレーニング科学演習(1)A	岡田 純一
コーチング科学	トレーニング科学演習(1)B	岡田 純一
コーチング科学	トレーニング科学演習(2)A	岡田 純一
コーチング科学	トレーニング科学演習(2)B	岡田 純一

(2) 修士課程2年制コース 講義科目 [2011年度] 単位は全て2単位

研究領域・コース	科目名	担当教員
スポーツ文化	武道思想史特論	志々田 文明
スポーツ文化	スポーツ人類学特論	寒川 恒夫
スポーツ文化	スポーツ教育学特論	友添 秀則
スポーツ文化	スポーツ表象特論	トンプソン リー A.
スポーツ文化	スポーツ社会学特論	宮内 孝知
スポーツ文化	スポーツ史特論	石井 昌幸
スポーツ文化	舞踊表現特論	杉山 千鶴
スポーツ文化	体育科教育特論	吉永 武史
スポーツ文化	中国武術史特論	林 伯原
スポーツ文化	体育科教育学特論	菊 幸一
スポーツ文化	体育科カリキュラム特論	松田 恵示

スポーツ文化	体育科教育評価特論	菊 幸一
スポーツ文化	体育科教育内容特論	松田 恵示
スポーツ文化	アジアの身体文化論	木内 明
スポーツ文化	スポーツ教授学特論	深見 英一郎
スポーツビジネス	スポーツ経営学特論	木村 和彦
スポーツビジネス	健康スポーツマネジメント特論	中村 好男、原田 和弘
スポーツビジネス	スポーツビジネスマネジメント特論	原田 宗彦
スポーツビジネス	スポーツクラブビジネス特論	間野 義之
スポーツビジネス	トップスポーツビジネス特論	平田 竹男、中村 好男
スポーツビジネス	スポーツ組織特論	作野 誠一
スポーツビジネス	スポーツビジネス・アドミニストレーション特論	武藤 泰明
スポーツビジネス	スポーツビジネスマーケティング特論	松岡 宏高
スポーツビジネス	スポーツビジネスデータ解析	矢本 成恒
スポーツビジネス	スポーツビジネスと国際政治	平田 竹男、望月 敏夫
スポーツ医科学	メディカルコンディショニング特論	赤間 高雄
スポーツ医科学	スポーツ統計学特論	中田 由夫
スポーツ医科学	スポーツ神経精神医学特論	内田 直
スポーツ医科学	スポーツ内科学特論	坂本 静男
スポーツ医科学	運動器発育・発達特論	鳥居 俊
スポーツ医科学	スポーツ外科学特論	福林 徹
スポーツ医科学	運動器解剖実習	福林 徹
スポーツ医科学	MRIの基礎と応用	渡邊 丈夫
スポーツ医科学	健康行動科学特論	岡 浩一郎
スポーツ医科学	スポーツ整形外科学特論	金岡 恒治
スポーツ医科学	生命科学特論	鈴木 克彦
スポーツ医科学	アスレティックトレーニング特論	広瀬 統一
身体運動科学	スポーツ神経科学特論	彼末 一之
身体運動科学	生体ダイナミクス特論	川上 泰雄
身体運動科学	運動生化学特論	樋口 満
身体運動科学	バイオメカニクス特論	矢内 利政
身体運動科学	スポーツ生理学特論	村岡 功
身体運動科学	精神生理学特論	山崎 勝男
身体運動科学	スポーツ情報処理特論	誉田 雅彰
身体運動科学	脳・運動の生理学特論	宝田 雄大
身体運動科学	スポーツ認知神経科学特論	正木 宏明
身体運動科学	データ分析(Matlab)	誉田 雅彰
コーチング科学	コーチング特論	磯 繁雄
コーチング科学	コーチ学特論	奥野、杉山、磯、岡田、堀野、 土屋、倉石
コーチング科学	コーチングバイオメカニクス特論	土屋 純
コーチング科学	コーチング心理学特論	堀野 博幸
コーチング科学	コンディショニング特論	岡田 純一
コーチング科学	パフォーマンス評価	奥野 景介
コーチング科学	スポーツ戦術戦略特論	倉石 平
領域・コース共通科目	論文作成技法 01	坂本 将基
領域・コース共通科目	論文作成技法 02	河野 寛
領域・コース共通科目	論文作成技法 03	柳澤 修
領域・コース共通科目	論文作成技法 04	沼尾 成晴
領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 01	柳澤 修
領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 02	若原 卓

領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 03	河野 寛
領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 04	坂本 将基
領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 05	沼尾 成晴
領域・コース共通科目	スポーツ科学演習 06	石井 香織

### (3) 修士課程1年制コース科目 [2011年度]

研究領域・コース	科目名	担当教員
トップスポーツ	トップスポーツマネジメント研究指導A	平田 竹男
トップスポーツ	トップスポーツマネジメント研究指導B	平田 竹男
スポーツクラブ	スポーツクラブマネジメント研究指導A	間野 義之
スポーツクラブ	スポーツクラブマネジメント研究指導B	間野 義之
健康スポーツ	健康スポーツマネジメント研究指導A	中村 好男
健康スポーツ	健康スポーツマネジメント研究指導B	中村 好男
介護予防	介護予防マネジメント研究指導A	岡 浩一朗
介護予防	介護予防マネジメント研究指導B	岡 浩一朗
トップスポーツ	トップスポーツマネジメント演習(1)A	平田 竹男
トップスポーツ	トップスポーツマネジメント演習(1)B	平田 竹男
スポーツクラブ	スポーツクラブマネジメント演習(1)A	間野 義之
スポーツクラブ	スポーツクラブマネジメント演習(1)B	間野 義之
健康スポーツ	健康スポーツマネジメント演習(1)A	中村 好男、塩田 琴美
健康スポーツ	健康スポーツマネジメント演習(1)B	中村 好男、塩田 琴美
介護予防	介護予防マネジメント演習(1)A	岡 浩一朗、塩田 琴美
介護予防	介護予防マネジメント演習(1)B	岡 浩一朗、塩田 琴美
(コース共通)	トップスポーツビジネス特論	平田, 中村
(コース共通)	スポーツの法と契約	水戸 重之
(コース共通)	スポーツビジネス・アドミニストレーション特論	武藤 泰明
(コース共通)	スポーツプロモーション特論	平田, 中村
(コース共通)	トップスポーツマネジメント特論	平田, 中村
(コース共通)	スポーツクラブビジネス特論	間野 義之
(コース共通)	スポーツビジネスマーケティング特論	松岡 宏高
(コース共通)	スポーツ組織特論	作野 誠一
(コース共通)	経営と戦略	黒須, 柳沢
(コース共通)	スポーツクラブマネジメント研究法	間野 義之
(コース共通)	トップスポーツマネジメント研究法	平田 竹男
(コース共通)	健康スポーツマネジメント特論	中村 好男、原田 和弘
(コース共通)	健康行動科学特論	岡 浩一朗
(コース共通)	健康スポーツ指導法演習	妹尾, 矢野
(コース共通)	レクリエーション指導法演習	妹尾 弘幸
(コース共通)	健康指導コミュニケーション	奥田 文子
(コース共通)	ヘルスプロモーション演習	岡、中村、塩田、奥田、矢野
(コース共通)	健康スポーツマネジメント研究法	中村 好男、塩田 琴美
(コース共通)	介護予防特論	大淵 修一
(コース共通)	老年リハビリテーション演習	小島 基永
(コース共通)	介護予防演習	岡 浩一朗、河合 恒
(コース共通)	老年学特論	大淵 修一
(コース共通)	介護予防マネジメント研究法	岡 浩一朗、塩田 琴美
(コース共通)	スポーツビジネスデータ解析	矢本 成恒
(コース共通)	スポーツビジネスと国際政治	平田 竹男、望月 敏夫
領域・コース共通科目	論文作成技法 01	坂本 将基

領域・コース共通科目	論文作成技法 02	河野 寛
領域・コース共通科目	論文作成技法 03	柳澤 修
領域・コース共通科目	論文作成技法 04	沼尾 成晴
(コース共通)	経済学	藤田 康範
(コース共通)	MBAエッセンシャル	山本 真司
(コース共通)	リスクマネジメント	野口 和彦
(コース共通)	データ分析(SPSS)	佐々木 康成
(コース共通)	マーケティングリサーチ	内田 学
(コース共通)	指導実践マネジメント	清水 隆一